

子育てサポートファイル

フェイスファイル



氏 名

保護者氏名



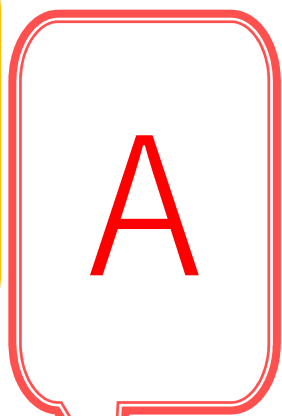
「フェイスファイル」の由来

このサポートファイルを共同で作成した石川郡内5町村の頭文字である古殿町の「F」、浅川町の「A」、石川町の「I」、玉川村の「T」、平田村の「H」を組み合わせ



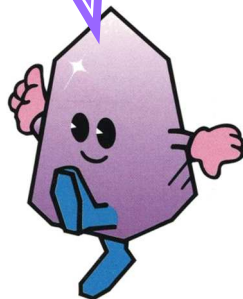
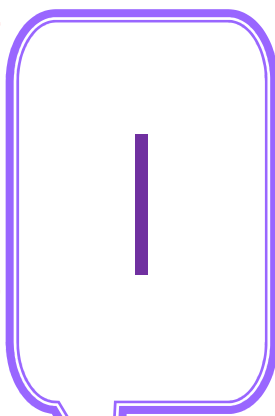
古殿町

やぶさめくん



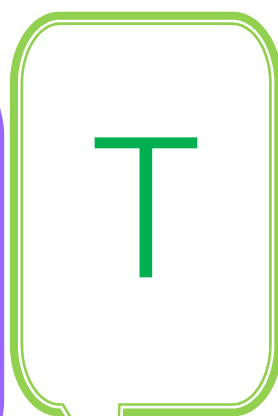
浅川町

あさまるくん



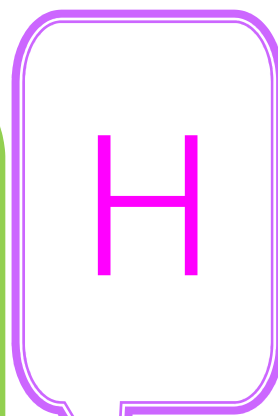
石川町

キララちゃん



玉川村

クックちゃん



平田村

ジュッピーちゃん

令和2年3月

石川地方地域自立支援協議会子ども部会
(石川町・玉川村・平田村・浅川町・古殿町)

【問い合わせ先】

平田村健康福祉課 0247-55-3119

石川町保健福祉課 0247-26-9123

浅川町保健福祉課 0247-36-4123

玉川村健康福祉課 0247-57-4623

古殿町健康福祉課 0247-53-4616



これから子育てをしていくみなさまへ



家庭の役割と子どもとの関わり

(1) 家庭の役割

- ★子どもは、「いってきます」、「いってらっしゃい」、「ただいま」、「おかえりなさい」など、毎日繰り返される保護者や家族からの言葉かけや会話を通した関わりの中で、家庭が安らげる場であることを実感します。家庭は「団らんの間」であり、大切な安らぎの間です。子どもと関わる時間を大切にしていきましょう。
- ★家庭は、子どものいのちと育ちが大切にされる場です。子どもの健やかな成長のために、家族で温かな関わりをもてるようにしましょう。

(2) 子どもとの関わり

～スキンシップの大切さ～

- ★スキンシップは、自分が十分受け入れられていることを、子どもに肌で感じさせ、情緒が安定し、人間関係の基礎となる社会性を育てることにつながります。発達に応じて、子どもとのスキンシップをしましょう。

豆知識

生まれてから発達に応じて必要なスキンシップの質と量があり、その子に適した方法で触れ合うことが大切です。思春期になって、保護者からのスキンシップを嫌がるようになって、子どもが落ち込んだときに肩をなでるなど、ワンポイントのスキンシップをすることで、短時間であっても言葉で伝える何倍もの感情が伝わります。

～子どもをほめて励ます～

- ★子どもは、大人が自分に関心をもってくれていることを実感することで、意欲を高め、次のステップへとチャレンジできるものです。日頃から子どもが努力する様子を見守り、頑張っていることをほめて励ましましょう。

～子どもの話を聴く～

- ★毎日短い時間でも、子どもの顔を見つめて話を聴いてあげましょう。大人が聴き上手になって、子どもが安心してたくさん話せるように関わりましょう。

～子どもの自己肯定感を高める～

- ★自分を好きだと思える自己肯定感の高い子どもほど、意欲や前向きな気持ちをもっています。ほめられて自信をもつことが自分を好きだと思える気持ちを高めます。子どものよさを見つけ、ほめて自信をもたせましょう。
- ★自分の話を聴いてもらえることで、受け容れられた安心感と自分の存在を大切に思う心が育ちます。家族との会話が多いほど、子どもは、自分を大切に思う自己肯定感を高めます。子どもの話に耳を傾けましょう。

生活習慣の定着のために

(1) 基本的生活習慣

～食事について～



- ★朝食は、成長期の子どもにとって、心身、特に脳の発達に大きな影響を及ぼします。健康維持のためにも、子どもとともに“早寝早起き朝ごはん”を実践しましょう。
- ★子どものために栄養のバランスを考えた食事を作り、一緒に食べることは、大切な愛情表現のひとつです。子どもといっしょに家族で朝の食卓を囲みましょう。
- ★テレビを消して、子どもと会話をしながら楽しい食卓にしましょう。食事中は、家族で会話のできる大切なひとときでもあります。

～睡眠について～

- ★子どもにとっての睡眠は、子どもの身体と心の成長発達にとって大切な生活習慣です。子どもが早めに就寝できるように生活時間を見直して、早く寝る習慣を身につけさせましょう。



～むし歯について～

- ★家庭において、乳幼児期から歯磨きの習慣を定着させましょう。

(2) 生活習慣を身に付けさせるには

～家族での約束事～

- ★家族で相談し、一日の生活の中で、勉強する時間、携帯電話を使用する時間、テレビを見る時間、ゲームをする時間を決めましょう。考えさせて一緒に約束を決め、守ることができたらほめて励ますことを繰り返し、規則的な生活時間の管理を習慣づけていきましょう。
- ★こづかいの金額を話し合って決める、貯金をさせ計画的にお金を使うようにさせる、こづかい帳をつけさせる等、お金を計画的に管理することを学ばせましょう。

豆知識

家族で話し合って約束（ルール）を決めることで、子どもは自分で考え、判断する力を身に付けます。また、その約束を守ることができたかどうかを、保護者が見守ることが大切です。家族の約束は、子どもの家庭生活の質を高めます。

～しつけについて～

- ★よいことをしたときは、小さなことでもほめましょう。
- ★悪いことをしたときは、感情的に怒らず、子どもがわかるように具体的な事実を示して叱りましょう。
- ★あいさつ、食事、後片付け等は、一つひとつ根気強く声をかけて教えましょう。
- ★衣類の始末や子ども部屋の整理、学校の準備など、子どもができることは自分でやらせましょう。

豆知識

生活習慣は、「〇〇しなさい」というように強制するだけで身に付くものではありません。社会の中で生活していく上で必要な、お互いが守るルールや礼儀は、保護者や、周りの大人の態度や行動から学んでいくものです。保護者も率先してあいさつするなど、お手本となる姿を見せましょう。

家庭における学習習慣の確立のために

(1) 学ぶ意欲を育てる

- ★目標に向かって努力する大切さを伝えましょう。
- ★家庭学習の予定を立てて、計画的な学習をさせましょう。
- ★毎日、机に向かう習慣をつけさせましょう。



豆知識

子どもは、好奇心のかたまりです。「なぜ?」、「どうして?」という思いを保護者が大切に受け止めていくことで、いろいろなことに興味を持つ子どもに育ちます。子どもが「見てみたい」、「行ってみたい」、「やってみたい」とときには、可能な限り挑戦させましょう。体験によって関心が深まり、学ぶ意欲が高まります。

学びの原点は、自然や社会の事象への興味・関心です。それが学ぶ意欲を喚起し、学習の楽しさに気づかせます。家庭でもできるだけさまざまな機会を与えていくことが大切です。また、子どもの家庭学習について、保護者が関わっていくことは、学習意欲を高め、家庭学習の習慣化のためにも大切です。お手本となる姿を見せましょう。

(2) 学習習慣を身に付けさせる

- ★メディア漬けや携帯電話依存になっている子どもたちは、生活時間の見直しから始めてはどうでしょうか。脳が新しい知識を最も吸収できる発達の時期に、大切な時間をメディアや携帯電話に奪われていることに気づかせましょう。
- ★子どもの宿題や家庭での学習状況を見守り、ほめて励ますことで家庭での学習が習慣化するように関わりましょう。

豆知識

学校に入学したら、学力向上のためには、学習習慣・生活習慣を確立し、家庭学習を充実させることが大切です。学習習慣・生活習慣は、確かな学力の基盤となります。学力を高めるためには、家庭において、自分で計画を立てて毎日学習することが大切です。

家庭における読書のすすめ

～豊かな心をはぐくむ本との出会い～

- ★読んでもらった絵本が、子どもに楽しみと喜びを与え、心に深く刻まれることで、子どもを本好きにする原動力になります。それが読書への大切な入り口です。毎日、寝る前のひとときを読み聞かせなど、子どもと保護者とで過ごす読書の時間にしましょう。

豆知識

家庭における読み聞かせは、子どもが本の楽しさを実感し、読書習慣を形成するきっかけになるとともに、情緒の安定やことばの獲得のためにも大切なことです。本をとおして得られるふれあいは、子どもと保護者との信頼関係を深め、子どもの心に幸福感を与えます。絵本を読んでもらっている時間は、子どもにとって、保護者の関心が自分に向けられていることを実感できる幸せなひとときです。

本には、「喜び、悲しみ、驚き、憤り、愛・・・」などの感性を刺激する材料がたくさんつまっています。乳幼児期に絵本や物語等に親しむ体験は、子どものことばと心の発達に影響するだけでなく、豊かな人間性をはぐくむ上でも重要です。

～豊かな学びをはぐくむ読書習慣～

★家庭を原点として読書習慣が子どもの生活の中にしっかりと根付いていくよう、家庭において保護者が積極的に関わりを持ちましょう。



こころと体の健康のために

～子どものこころを育てる体験活動～

★子どもは、地域の方々や子ども同士の関わり合いをとおして、人との関わり合いを学びます。こころを育てる貴重な体験として、地域活動やボランティア活動、地域の行事に参加させましょう。

★お手伝いは家庭における大切な体験活動で、感謝の心と責任感をはぐくみ、自立への力をつけていきます。そして、子どもの発達に応じて「お手伝い」から「家事分担」というように子どもに役割を持たせていきましょう。

豆知識

お手伝いをとおして、家族の一員として支え合う関係の大切さを知り、家族から頼りにされたり、喜ばれたりすることで自分を大切に思う気持ちも高まります。

～健やかな体をはぐくむ～

★外の空気を感じながら身体を使った外遊びは、運動にもなり、心も体も元気になります。身体を使った外遊びで、様々な運動を体験させましょう。

★運動は、体力を向上させるばかりでなく、思考力・判断力・創造力・規範意識等もはぐくむと言われています。また、食生活や睡眠リズムにも良い影響を及ぼします。子どもと保護者とで一緒に運動し、身体能力を高めましょう。

自立に向けての関わり

(1) 思春期の子どもと向き合うために

★思春期の子どもと関わる時、一人の個人として子どもを尊重し、子どもとの信頼関係を築いていきましょう。

★思春期は、成長発達という変化の中でここが最も不安定になります。むやみに干渉過ぎず、子どもの成長する力を信じて温かく見守りましょう。冷静に子どもの姿を見つめ、常に会話を重ねる努力をしましょう。不安定なところを受け容れながら関わっていくことが大切です。

豆知識

思春期の子どもは、保護者や大人に対してイライラしたり、ムカムカしたり、時には反抗的になったり、思わず攻撃的な態度や行動をとってしまうことがあります。こうした「感情の起伏」や周りの大人に対して「反抗的になる」ことは、子どもの成長・発達の証でもあります。大切にされてきた保護者や大人に対して、信頼しているからこそ「反抗的」になったり「攻撃的」になったりします。思春期独特の発達の特徴です。そして、思春期の子どもは、保護者を一人の個人として、これから自分が成長していく大人のモデルとして見ています。子どもに対して「誠実」、「公平」、「率直」であることが信頼につながります。



(2) 思春期の子どもとの関わり

★思春期の子どもの発達を理解し、自立に向けて、関わりましょう。

★子どもを育てる保護者として、なぜ「ならぬこと」であるかを理解させつつ、「ならぬことはならぬ」という厳しい態度も持ちましょう。

豆知識

子どもの発達に応じて、保護者が支援できることは変わってきます。子どもが何か課題を抱えたときに、保護者はつい口を出したり手助けしたりしたくなります。しかし、それが子どもの課題である場合、保護者がそれをしてしまうことで、子どもの自立につながる問題解決能力が損なわれることもあります。

また、思春期になると子どもたちは、保護者と話したがらなくなる傾向もあります。保護者は、不安と焦りをもちますが、それだけ子どもの自立が始まったのだと、思春期の子どもの発達を理解しましょう。自立に向けて子どもの成長発達を見守りながらも、これだけはゆずれないという場合には、感情的に言うのではなく、冷静に、なるべく早い段階で伝えることが大切です。

そして、思春期の子どもが、本当に困ったときには、相談してもらえる保護者でありたいものです。話を聴いてくれ相談できる保護者であるかどうか、思春期の子どもたちにとって、最も重要です。

～大切にしたい性・いのち～

★「大切にしてくれる大人がいることを子どもが実感する」ということが重要です。大切にしてくれる大人は、保護者でも、親戚の方々でも、学校の先生方でも、地域の方々でも、子どもが「大切にされた」という実感をもてるような関わりをすることが必要です。大切にされた実感をもたせられるように関わっていきましょう。

○プロフィール

記入日 年 月 日

記入者氏名

変更があった場合は二重線で消して書き直すか、書き換えて最新の情報にしておきましょう。
書き換えた場合は、元のシートを一番後ろのページに保管しておきましょう。

ふりがな				性別	男・女	血液型	型
氏 名							
生年月日	年 月 日			こどものニックネーム			
住 所	〒						
	電話番号						
ふりがな				続柄		電話番号	
保護者名							
緊 急 連絡先	氏 名			関係		電話番号	
	氏 名			関係		電話番号	
同居の家族	氏 名	続柄	生年月日		備 考		
			年 月 日				
			年 月 日				
			年 月 日				
			年 月 日				
			年 月 日				

○かかりつけ医療機関

医療機関	担当医	電話番号	備 考

○病歴

今までにかかった主な病気	麻疹（はしか）	歳頃
	風疹	歳頃
	水痘（水ぼうそう）	歳頃
	流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	歳頃
	てんかん	歳頃
	ぜんそく	歳頃
	アトピー性皮膚炎	歳頃
		歳頃
		歳頃
		歳頃
		歳頃

○アレルギー（食物、環境、物質など）について

アレルギーの種類	診断を受けた年齢	症 状	対応・治療法
			エピペンの要不要など

○通院・入院の記録

[illegible]

○健診歴

保健師訪問など	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？保健師からのアドバイスはありましたか？	
4か月児健康診査	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？医師や保健師からのアドバイスはありましたか？	
1歳6か月児健康診査	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？医師や保健師からのアドバイスはありましたか？	
2歳頃の健康診査	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？医師や保健師からのアドバイスはありましたか？	
3歳児健康診査	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？医師や保健師からのアドバイスはありましたか？	

	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？保健師からのアドバイスはありましたか？	
	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？医師や保健師からのアドバイスはありましたか？	
	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？医師や保健師からのアドバイスはありましたか？	
	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？医師や保健師からのアドバイスはありましたか？	
	年 月 日 実施／未受診
何か相談をしましたか？医師や保健師からのアドバイスはありましたか？	

○相談の記録

不安や心配があり、保育所・こども園等や学校、行政に相談したことを記載しておきましょう。

年月日または いつ頃(年齢)		相談した 場 所	
担当者		相談方法	訪問・電話・その他（ ）
相 談 内 容			
助言・指導 など			
感じたこと・ やってみた ことなど			

年月日または いつ頃(年齢)		相談した 場 所	
担当者		相談方法	訪問・電話・その他（ ）
相 談 内 容			
助言・指導 など			
感じたこと・ やってみた ことなど			

年月日または いつ頃(年齢)		相談した 場 所	
担当者		相談方法	訪問・電話・その他（ ）
相 談 内 容			
助言・指導 など			
感じたこと・ やってみた ことなど			

年月日または いつ頃(年齢)		相談した 場 所	
担当者		相談方法	訪問・電話・その他（ ）
相 談 内 容			
助言・指導 など			
感じたこと・ やってみた ことなど			

○こども園等に入るときに記入しましょう。（記入日 年 月 日）

	所 属	担 任	在籍期間
通っていた ところ			
すきなあそび、 落ち着く時間 のすごし方			
苦手なこと、 もの			
からだの調子 が悪い時の サイン、対応			
ひとりで できること、 できないこと、 必要な支援	排せつについて（トイレのサイン等）		
	食事について		
	衣服の着脱について		
伸ばして ほしい力・ 良いところ			
親からの メッセージ			

○小学校入学時に記入しましょう。 （記入日 年 月 日）

	所 属	担 任	在籍期間
通っていた ところ			
コミュニケー ション	過去にこんな心配があった、今、心配があるかないか、理解したり伝えたりすることは できるかななどを記載してください。		
好きなこと、 苦手・嫌いな こと	好きな遊びや場所、あると落ち着くもの、嫌い・怖い・苦手なものや場所、音など、こ だわりやパニックの予兆、予防方法、対処方法などを記載してください。		
生活状況	「食事」「排泄」「衣服などの着脱」「移動」などについて、記載してください。		
伸ばして ほしい力・ 良いところ	お子さんの良いところ、伸ばしてほしいところなどを記載してください。		
親からの メッセージ			

○中学校入学時に記入しましょう。 （記入日 年 月 日）

	所 属	担 任	在籍期間
通っていた ところ			
コミュニケー ション			
好きなこと、 苦手・嫌いな こと			
生活状況			
伸ばして ほしい力・ 良いところ			
親からの メッセージ			

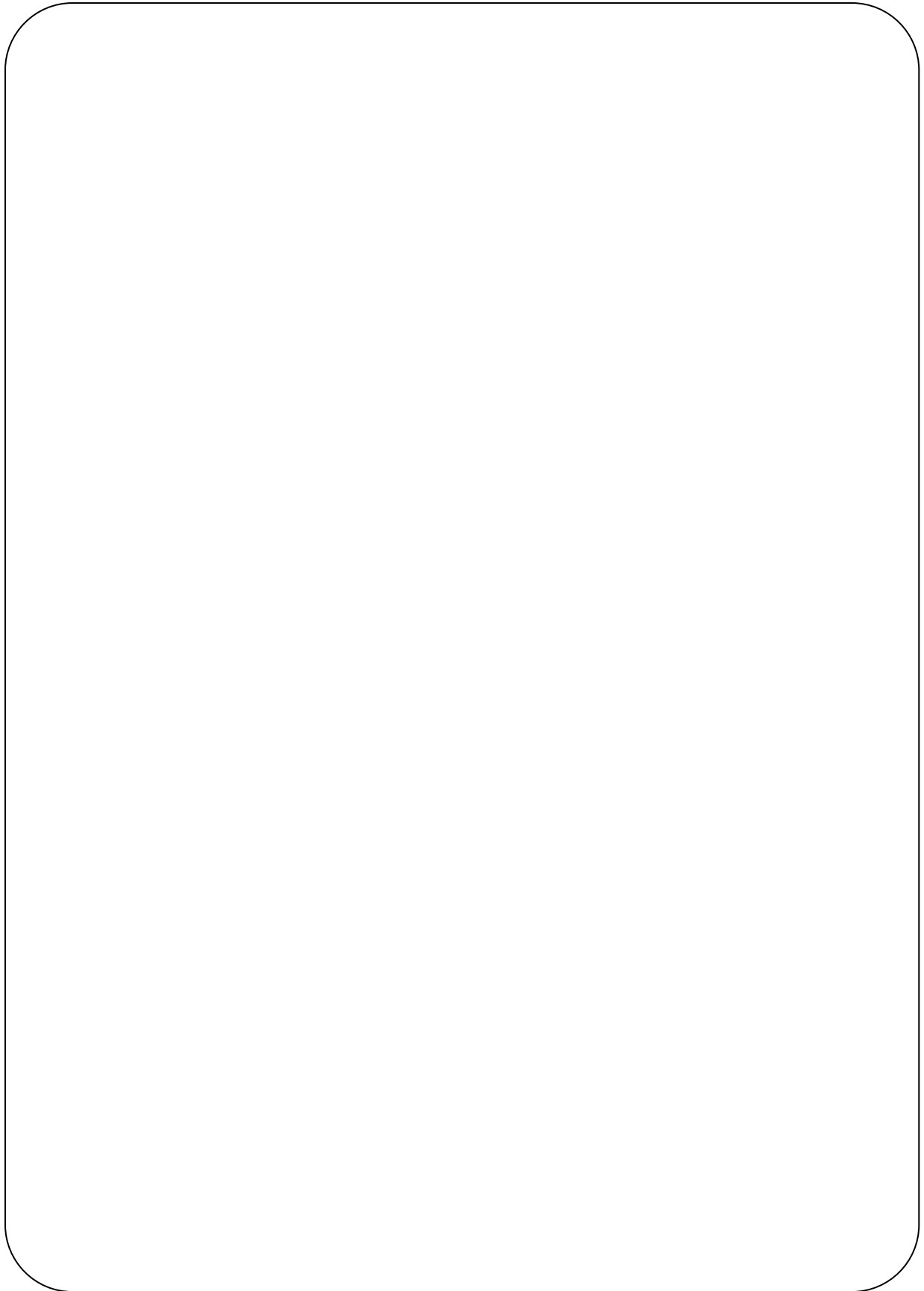
○高等学校入学時に記入しましょう。（記入日 年 月 日）

	所 属	担 任	在籍期間
通っていた ところ			
コミュニケー ション			
好きなこと、 苦手・嫌いな こと			
生活状況			
伸ばして ほしい力・ 良いところ			
親からの メッセージ			

○大人になるあなたへ

(記入日 年 月 日)

(おうちの人から応援のメッセージを記入しましょう。)



○成長の記録

[illegible]

～お誕生日に～（家族みんなで御祝いのメッセージを書いたり写真を貼ったりしましょう）

年 月 日で____歳になりました！

年 月 日で____歳になりました！

年 月 日で____歳になりました！

年 月 日で____歳になりました！

療育施設、こども園等の記録

小学校の記録

支援計画書・支援記録を後ろに綴っておきましょう

中学校の記録

支援計画書・支援記録を後ろに綴っておきましょう

高等学校の記録

支援計画書・支援記録を後ろに綴っておきましょう

サポートファイルについて

サポートファイルとは



サポートファイルは、支援を必要とするお子さんが、支援の担い手が変わりやすい移行期においても、一貫して適切な支援を継続的に受けられるよう使っていただくものです。

保護者と関係機関とが連携、協力してお子さんの支援を行っていくことができるよう、お子さんの成長の記録、特徴、受けてきた支援の内容などを書き込んだり資料を保管できるようになっています。過去の記録も保管でき、受けてきた支援の内容を確認できるようになっています。

保護者にとって・・・

保護者は、お子さんについて相談をするときや新しい支援機関を利用するたびに、一から何度も説明しなくてはならず大変ということがありました。また、必要な情報をもれなく伝えられたか、支援者が説明を十分に理解し、支援へ生かしてくれるかとの心配もありました。

このファイルを作成し支援機関に提示することで、お子さんに関わる支援者に対して、お子さんがどのように成長してきたか、これまでどこでどのような支援を受けてきたかを支援者にもれなく正確に伝えることができるようになります。

また、時間をかけて記録をすることで保護者の方自身がお子さんの個性を客観的に見ることができたり、新しい発見ができるかもしれません。

支援者にとって・・・

支援を開始するにあたり、お子さんの成長発達の記録やどのような療育を受けてきたのかを確認しやすくなり、必要な関係機関と連携して支援を行う助けになります。

本人・保護者の希望に叶った支援をするためにこのファイルを活用していただければと思います。



サポートファイルの使い方

- このファイルは、お子さんの成長の様子や特徴、受けてきた支援などを書き込むようになっています。すべてを「記入しなければならない」ものではありません。保護者の方が支援者へ「伝えたい」内容から記入してください。
- 保護者の皆様がお子さんに必要と思うシートを作成してください。「プロフィール」等には「記入日」を書き込むようになっています。進級、進学など成長に伴い伝えたい内容が変化したときは、シートを追加してお使いください。元のシートは一番後ろのページに保管してください。
- 必要のないシートは省いてお使いください。
- 母子健康手帳に記録されている内容などは、必ず書き写す必要はありません。
- 医療機関や相談機関から提供された資料などもシートの後ろに差し込んで保管できるようになっています。必要に応じて支援者へ提示し、支援へ役立ててもらってください。
- 療育施設や学校の作成した個別支援計画もシートの後ろに差し込んで保管できるようになっています。必要に応じて支援者へ提示し支援に役立ててもらってください。
- ページは、各町村ホームページからダウンロードすることが可能です。足りないページは追加してお使いください。

支援機関の皆様へ

実際の支援にあたりましては、このサポートファイルに記入された内容を基に、本人や保護者の意向を確認していただくようお願いいたします。

サポートファイルに記載された内容は個人情報です。取り扱いについては、必ず本人や保護者の了承を得たうえで十分注意して行ってください。

○支援が必要な診断名や傾向について

診断名（疑い含む）	医療機関	診断時期
		年 月 日

○支援者に知っておいてもらいたいこと 記入日 年 月 日

☆本人・病気・家庭のことなど支援者に伝えたいことを記入してください。

○手帳・受給者証の記録

身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳、指定難病医療費受給者証、小児慢性特定疾病医療受給者証または小児指定疾病医療費助成登録証をお持ちの方は記入してください。

手帳等の種類		番 号	
交 付 日	年 月 日	次回更新時期	年 月 日 更新なし
特記事項（障害名、障害程度、障害等級、疾患名等）			

手帳等の種類		番 号	
交 付 日	年 月 日	次回更新時期	年 月 日 更新なし
特記事項（障害名、障害程度、障害等級、疾患名等）			

手帳等の種類		番 号	
交 付 日	年 月 日	次回更新時期	年 月 日 更新なし
特記事項（障害名、障害程度、障害等級、疾患名等）			

手帳等の種類		番 号	
交 付 日	年 月 日	次回更新時期	年 月 日 更新なし
特記事項（障害名、障害程度、障害等級、疾患名等）			

手帳等の種類		番 号	
交 付 日	年 月 日	次回更新時期	年 月 日 更新なし
特記事項（障害名、障害程度、障害等級、疾患名等）			

個別支援計画、サービス等利用計画、実施計画書などを
このページの後ろに差し込んで保管しておきましょう。

○サービス等利用の記録

短期入所・行動援護などの障害福祉サービス、日中一時支援・移動支援などの地域生活支援、児童発達支援・放課後等デイサービスなどの障害児通所支援、訪問看護、訪問リハビリテーションの利用について記入しましょう。

サービスの種類	
サービス提供事業所	Tel 担当者（職種）
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
相談支援事業所	Tel 担当者
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
サービス内容・ 利用頻度など	

サービスの種類	
サービス提供事業所	Tel 担当者（職種）
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
相談支援事業所	Tel 担当者
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
サービス内容・ 利用頻度など	

サービスの種類	
サービス提供事業所	Tel 担当者（職種）
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
相談支援事業所	Tel 担当者
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
サービス内容・ 利用頻度など	

サービスの種類	
サービス提供事業所	Tel 担当者（職種）
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
相談支援事業所	Tel 担当者
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
サービス内容・ 利用頻度など	

サービスの種類	
サービス提供事業所	Tel 担当者（職種）
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
相談支援事業所	Tel 担当者
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
サービス内容・ 利用頻度など	

サービスの種類	
サービス提供事業所	Tel 担当者（職種）
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
相談支援事業所	Tel 担当者
利 用 期 間	年 月 日 ～ 年 月 日
サービス内容・ 利用頻度など	

○補装具・日常生活用具の記録

[illegible]

○卒業後の進路

就学の記録

記入日

年

月

8

[illegible]

職業訓練の記録・就労の記録

記入日 年 月 日

実習・就労期間	実習・就労先	仕事の内容	紹介者	備考
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				
年 月 日				

○×毛

[illegible]

○支援者マップ

本人を取りまく人や場所について記入してください。

（学校・相談支援・行政機関・こども園等・福祉サービス事業所・医療機関・地域で関わりのある人や店・習い事など）

場 所：〇〇中学校

記入例

担当者：〇〇先生

連絡先：0247-〇〇-〇〇〇〇

内 容：

学校生活のことを相談している。

卒業後の進路を相談している。 等

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：

場 所：

担当者：

連絡先：

内 容：